

地域の特色を生かしたまちづくり 安全安心、心ふれあう活力あるまち



市政の発展に貢献する

自治会を中心としたまちづくり

市長 あけましておめでとございます。

昨年は、ホンダが都市対抗野球大会で優勝という快挙を成し遂げ、市民に歓喜と感動を与えてくれました。また、市制施行55周年の式典を開催し、大野松茂さんを名



地域主体のまちづくりには
いいリーダーが必要と語る仲川市長

誉市民に推挙しました。長い間、狭山市のためにご尽力いただき、本当に素晴らしい方を推挙できてよかったと思っております。

さらに、「人間地区」の呼称を入曽地区へ変更、民間のノウハウを活用した学校給食センターのオープン、新狭山駅南口線の開通などの事業を実施することができました。一方、市民活動では、不老川をきれいにする会が緑綬褒章を受章するなど、市民の力が大いに発揮された1年でもありました。

また、昨年は市民皆さんのご理解とご協力により、順調に市政が推移したと思っておりますが、財政面では、経済の失速が大きなダメージとなり、財政運営の難しさを感じているところでもあります。



狭山市自治会連合会会長
田口 勇男 氏(柏原)

このような背景はありますが、今年の3月には、狭山市駅の西口がまち開きを行いますし、市民みんなが力を合わせて頑張れば、必ず未来が開けてくると思えます。

田口 旧年中は、行政並びに会員の皆様からご協力をいただき、順調に自治会活動を進めることができました。また、連合会の宿泊研修では、各自治会の事業を発表してもらい、いろいろな情報交換ができて、いい勉強になったかなと思っております。

石原 私は、前会長から自治会長を引き継いだのが、平成16年の埼玉国体の年でした。6年目を迎えますが、地区住民の皆さんにご協力をいただいで、毎年新しい気持ちで取り組んでいます。

廣瀬 私の自治会は、2千300世帯を抱える市内で一番大きな自治会で、昨年40周年を迎えました。他の自治会のいろいろな活動も参考にさせていただきながら、自治会活動を進めています。

那須 私の自治会は、発足して25年の比較的新しい自治会です。同じころ同じところに住むようになった住民が会員なので、まとまりがいいという特徴があります。また、全国から集まった多彩な人材を活用することについては、まだ不十分と感じていますので、今後そこを掘り起こしていけば、自治会活動もさらに幅広いものになるのではと期待しています。

地域の中核施設としての地区センター

地域リーダーの必要性

市長 私はこれまでさまざま地域活動を経験してきました。その中で、自分の生まれ育った地域で何ができるか、何を返せるのかというのをいつも思っています。公民館長時代に自治会長さんとおつきあいが始まり、特にそれを感じたわけです。

それで、市長になったときには、やはり地域が活性化しなければ市も発展しないんだという思いを強く持ち、地域の中核施設として地区センターをつくり、課長職を置いて強化を図りました。地域にはそれぞれの歴史と文化、地理的な背景など多くの資産がありますから、それを有効活用して生かしていくことが大事だと思っています。幸い、各地区で、地域の特色を

生かした、素晴らしい活動が実施されていますが、これは地域の方が音頭をとってくれるからこそできることだと感じています。

地区センターを設置して5年がたちますが、皆さんの地区ではどのような活動が行われているかご紹介いただけますか。

田口 市内各地域で、本日に活発な活動が行われていると思います。

本日出席していませんが、たとえば、堀兼地区では芋煮会、ふるさとの味伝承事業、ひまわり畑など、奥富地区ではかかし祭やふるさとづくり、また、新狭山地区では国際交流協会と共催のお祭りや、すかいロード祭り、狭山台地区では食のフェスティバル、おいしんぼ祭りなどが行われています。私の柏



狭山市自治会連合会副会長
石原 正夫氏(入曽)



狭山市自治会連合会副会長
廣瀬 睦昭氏(入間川)

原地区では、昨年、県知事から防犯の関係で表彰されました。また、地区センターなどを利用して祭りを行っていますが、まちづくりは、まず地域の人に出てもらわないと盛り上がりませんので、さらに工夫していきたいと思っています。

石原 入曽地区では、里山の木の葉を集めて堆肥をつくり、そこで、かぶとむしの幼虫が成長する過程を子どもたちに見学してもらっています。また、入曽のお茶の里祭りも、1千500人を超える人出でにぎわいました。それと、私の自治会では、平成19年からワイワイ広場を開催していて、昨年、自治会主催で子育て支援広場の1周年記念事業を開催しました。このような事業は、自治会の役員と民生委員・児童委員、ボランティアの方々がいなければできないことです。大好評で、市内各地からたくさんのお親子がいらっやいます。

廣瀬 入間川地区では、4年前から、東・西・富士見の3支部の防犯ボランティアネットワークを立ち上げ、活発に活動をしています。また、まちづくり事業として、いくつもの実行委員会が継続事業として活動し、まちづくりコンサート、間伐材を使ったベンチ作り、狭山稲荷山公園下のかたくりの保護活動、地域の自治会が協力しての入



狭山市自治会連合会幹事長
那須 美德氏(水富)

間川エコーリスモや赤間川沿いに花を植栽するなどのふるさとくらぶ事業を行っています。特に昨年10月には、「灯の川2009」と題し、入間川の両岸に間伐材のたいまつをともし、自然との共生とにぎわいの創出をテーマにまちづくり事業を実施したところです。

那須 水富地区では、灯りの散歩道事業として、神社の夜祭りに合わせてかんがい用水の根堀のほりに走馬灯を100基ほど立て、そこを浴衣の親子が歩くという風情ある状況を醸し出しています。さらに、水辺の灯り事業を去年から始め、七夕まつりで使った竹を短く切り、その中に口ウソクを入れ、入間川左岸の斜面に500本ほど立てて、市制55周年にちなみ、55という数字を浮かび上がらせたんですが、非常にきれいでした。今年はさらにいいものにしたと考えています。

市長 昨年はそれぞれ地域の特色を生かした活動が活発に行われましたね。

さて、地区センターができて、各地区で最初に取り組んでいただいたのが、防犯活動だったと思います。市内全地区にアポック地域防犯ネットワークが設置され、防犯活動を全地域で盛んにやっていただいた。それが起点となってさらにさまざまな活動に発展し、地域の持つ資産を活用したものが各地区で行われていることは、非常に素晴らしいと思います。

廣瀬 私の自治会は新興住宅地で、神社、仏閣が一つもないんです。お祭りなどで一緒になって盛り上げるというものがありません。ですから、自治会として、昔からの伝統的なものがないというのは、ちょっと寂しい気がします。

市長 ジャンルが違って、うちの地区の特徴はこうですよというものをくり出すのもいいことじゃないですか。

廣瀬 そういうことも考えなくてはいけないと思っています。

那須 各地域には、古くからの居住者も新しい方もいらっしやいますから、それぞれの育ちや歴史に合わせた祭り、催しがあっというわけです。一つの行事に全員に参加してもらつことは不可能ですが

ら、さまざまなタイプの行事があつて、そこに参加していただいて、トータルとして大半の会員・居住者に参加していただければ、これはしめたものです。

市長 そういつ行事にロマンを求めていくと、もっと発展するんじゃないかと思うんです。新しいものの創作というのも夢があつていいんじゃないかな。それといういろいろな催しの中に、食を絡めたらさらによくなるんじゃないでしょうか。人が集まる場所には、食も大事な要素ではないかと思えます。

ところで、最近の自治会活動への参加状況はどうですか。

田口 昼間の会議になるとどうしても仕事を持つている方には難しい部分がありますね。時代は動いていますから、そのときに合ったやり方というのがあると思つんです。前々からのものを同じようにやっていると、参加しづらくなっているかなと思いますね。

廣瀬 しかし、将来のためにはやっぱりつなげておかないと。若い人に自治会活動に参加してもらつて、将来、役員として中心となつてやってもらいたいと思います。

那須 私たちの年齢からすれば、もう子どもが指導者の立場に立つていく時代になりつつあると思つています。ですから、そのころが

うまく引き継いでいけない面がありますね。もう少し時間が必要ですね。

石原 超高齢社会の時代にあつて、これからの自治会活動は大変難しいですね。10年後、20年後を考えたときに、自治会はどうなっていくんだろつという危機感も持っています。

田口 私の自治会は、分家なども多く、そういう方たちは、大体入つてくれるんですが、単身者の方は、なかなか入会してもらえないですね。やはり、どこの地区も、若い人の参加が課題になっていると思えます。

那須 私の自治会は、各会員が個別に会費を事務所を持っていくことになっています。これは、自治会創立以来続けていまして、会員の自主性を尊重するという意味で大変貴重であると自負しています。会費を納めてもいいと思つていただけるような魅力ある活動が求められていると思います。

市長 要するに人、リーダーなんです。リーダーがその中にいるかどうかなんです。活動をする人の平均年齢が上がっています。が、若い人たちにも意識を持ってもらうことが大事ですね。

今は、すぐメリットの話になるんですが、メリットは与えられる



ものじゃないと思つんです。自分が地域の活動に参加して、その中で相手の気持ちを知らながら一緒にメリットを享受していくという気持ちが必要だと思つています。

各地区の主なまちづくり推進事業

共通...市内8地区で、地域防犯ネットワーク(アポック)が組織され(10団体)、防犯パトロールや見回り活動など、安全安心な地域づくりを推進

人間川地区

狭山市まちづくりコンサート
伐材を活用したベンチの製作
たくりの園事業 灯の川事業
いっぱい運動と食育運動



入曽地区

やまほたる 花のあるまちづくり事業
こども茶会事業
映像で記録する入曽ペンぎんルーム



堀兼地区

ほりかね芋煮会事業 堀兼の里づくり事業
堀兼のふるさとの味伝承事業
ひまわり畑づくり事業
堀兼のふるさとマップづくり事業



奥富地区

奥富かかし祭 奥富地区ふるさとづくり
ギャラリー奥富 奥富茶話会



柏原地区

お米作り体験教室 柏原祭り



水富地区

灯りの散歩道づくり事業
水辺の灯り事業
あいさつ推進事業



新狭山地区

三ツ木公園花壇整備 北口あじさいロード作り
「市」の開催 あじさい祭り並びに国際交流の集い
すかいロード祭り ベゴニアロードの植栽



狭山台地区

食のフェスティバル「おいしいしんぼ祭りin狭山台」



地域と行政が力を合わせて

元気な狭山をみんなで作る

市長 最後になりますが、皆さんの今年の抱負をお願いします。

田口 私のところでは、今年、祭りを神社と合同で実施する方向で話を進めているんですが、何とか盛大にできるようにしたいと考えています。また、自治会連合会としても、各地区自治会と連携を図りながら、行政とともに元気なまちづくりに努めていきたいと思っています。石原 この地区にも言えることだと思いますが、最近は自治会活動をやる上で、役員を長く続けてくださる方が少なくなっていると思います。多くの方に参加してもらえような魅力ある事業を実施していくには、中心となって活動していただける方を、いかに育てていくかが課題だと思っています。廣瀬 個々の自治会および連合会として、今後の活動はどうあるべきかなど、いろいろ考えながら進めていきたいと思っています。また、会員と役員との交流の場を多く設け、風通しのよい自治会組織を作ることと、自治会でも高齢者を把握して、手を差し伸べられるようにしたいと思っています。

那須 ある程度の事業は出そろっていると感じていますので、会員の

高齢化に合わせ、お互いに知恵を出し合って、それぞれの事業に少しでも参加する人が多くなるように、中身を充実させる方向にシフトしていく時期だと思っています。

市長 まず、市民の皆さんに自分の住んでいるところを好きになってもらうことが大事です。そのためには、自分の地域を知ることです。子ども達は学校で教わりますが、市外から来た方は、この地域がどういところか知らない方が大勢いると思うんです。ですから、そういう部分を地域と地区センターが連携して、知らせていく必要性を感じています。これから、元氣大業をつくって、人材育成のための学びを提供していきますので、その中でも、地域は大事なんだということを必修科目として、市民に伝えていきたいと思っています。

今年、市民みんなが力を合わせて進んでいく、こんな時代だからこそ、お互いの力を合わせることに、相乗効果が生まれて元氣な狭山ができるんじゃないかと思っています。自治会連合会の役員の皆さんにも、ぜひご支援をお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。